



赤い羽根「災害ボランティア・活動サポート募金」(ボラサポ)
第18回助成速報 東日本大震災支援活動に1.3億円の最終助成を決定
～被災地、避難先で今後も必要とされる課題と対応策は提言で～

赤い羽根の中央共同募金会(会長・斎藤十朗)が運営するボラサポ(東日本大震災の被災地を支えるボランティアやNPO活動を支える支援金)による団体助成が、第18回助成で累計2,951件、総額35億7,620万円となりました。第18回の応募総数は121件と、第17次と比べて10件減りましたが、応募額は第11次(2013年5月受付)以降最高の応募額(2億9,448万円)となりました。

【第18回助成決定について】

◎第18回助成速報値 81件、1億3,523万円

◎助成累計9,586件、41億4,993万円

※内訳:ボラサポ 累計2,951件、35億7,620万円

住民支え合い活動助成 累計6,635件、5億7,373万円 (2016年1月15日現在)

◎募金額計44億967万9,686円

【全般的な傾向について】

ボラサポによる最終助成であったということと、継続応募の条件を一部変更したことにより同一活動の継続応募がしやすくなったことなどから応募件数が増えました。特に、広域避難者支援の活動(保養含む)は、いまだ5万人を超える方が元々住んでいた場所を離れて生活していることから、避難者自身が活動するもの、避難者を受け入れる地域の団体が活動するものなど、全体の応募の約2割に当たる23件・5,851万円の応募がありました。

【ボラサポ終了後の提言について】

2011年4月から2016年1月の第18次助成決定まで4年9か月にわたって助成を続けてきたボラサポですが、今回が最後の助成となります。これを受け、助成内容とその成果、ボラサポという助成のしくみそのものの成果と課題、今後起きる災害に向けての提言などを報告書の形でまとめることにしています。

現在、ボラサポに応募した団体へのアンケート調査なども実施しており、そうした結果を踏まえて第三者の視点も入れた報告書とする予定です。現時点で残される課題として、「仮設住宅に取り残される人々とその周辺課題」や「広域避難者とその周辺課題」などが挙げられると考えています。こうした課題に対して、どんな取り組みが必要とされるのか、現在ある施策等の中で活用可能なものは何かなど、まとめていきたいと考えています。

提言などの報告書はまとも次第、中央共同募金会のホームページで公表いたします。

第18回応募状況と助成速報 (1月15日現在) 【応募受付期間2015年9月14日～2015年10月6日】

全体	短期活動(1ヶ月未満)	中長期活動(300万円上限)	重点活動(1000万円上限)
(1)応募総数 121件	(1)応募総数 29件	(1)応募総数 84件	(1)応募総数 8件
(2)応募総額 2億9,448万円	(2)応募総額 1,295万円	(2)応募総額 2億1,196万円	(2)応募総額 6,957万円
(3)助成件数81件	(3)助成件数 23件	(3)助成件数 56件	(3)助成件数 2件
(4)助成総額 1億3,523万円	(4)助成総額 882万円	(4)助成総額 1億1,009万円	(4)助成総額 1,632万円
(5)1団体平均額 166万円	(5)1団体平均額 38万円	(5)1団体平均額 196万円	(5)1団体平均額816万円

Facebookページ <http://www.facebook.com/borasapo>

耳寄り情報 更新中!

●お問合せ・くわしい資料は: 社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部 (担当: 武井・城・丁(てい)・戸石)
TEL: 03-3581-3846 (FAX: 03-3581-5755)
メール: kikaku@c.akaihane.or.jp
ウェブサイト: <http://www.akaihane.or.jp>



2016年1月15日(金)

災害ボランティア・NPO活動サポート募金の 第18次助成団体の決定について

1. 全体状況

(1) 応募総数	121件
(2) 応募総額	2億9,448万円
(3) 助成件数	81件
(4) 助成総額	1億3,523万円
(5) 1団体平均額	166万円

2. 短期活動

(1) 応募総数	29件
(2) 応募総額	1,295万円
(3) 助成件数	23件
(4) 助成総額	882万円
(5) 1団体平均額	38万円

3. 中長期活動(300万円上限)

(1) 応募総数	84件
(2) 応募総額	2億1,196万円
(3) 助成件数	56件
(4) 助成総額	1億1,009万円
(5) 1団体平均額	196万円

4. 重点活動助成(1000万円上限)

(1) 応募総数	8件
(2) 応募総額	6,957万円
(3) 助成件数	2件
(4) 助成総額	1,632万円
(5) 1団体平均額	816万円

●問合せ先

社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部

電話：03-3581-3846

メール：support@c.akaihane.or.jp

ホームページ：www.akaihane.or.jp

2016年1月15日

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」

第18回助成決定に当たって

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(以下、「ボラサポ」)の最終回となる第18次の助成先を決める配分委員会(第20回)を開催しました。今回はボラサポ終了後の提言について協議するため、第13回運営委員会との合同委員会としました。

基本的には、応募要項ならびに本ホームページ掲載の「(第1回から第17回までの)助成決定に当たって」の考え方に沿いながら審査しました。

以下に、今回の応募案件の審査過程で検討した事項について整理し、助成先の選考にあたっての考え方をまとめました。

1. 第18次の応募状況と助成決定状況

(1) 応募状況

9月14日から10月6日を受付期間とした第18次募集では、1か月未満の「短期活動」に29件・1,295万円、1か月以上の「中長期活動」に84件・2億1,196万円、重点活動助成に8件・6,957万円の応募がありました(合計:121件・2億9,448万円)。応募件数は前回より10件減少しましたが、応募額は増えました。結果、最終の応募となる今回が第11次(2013年5月受付)以降で最高の応募額となりました。

(2) 全般的な傾向

第18次応募の活動では、次のような傾向が見られました。

- ① 継続の応募割合は16次(2015年1月受付)が70%、17次が75%、18次が80%と、ボラサポの応募受付最後の3回は、徐々に継続の応募が増えるという結果になりました。震災から4年という時期から新たに活動を始める団体が少なかったこと、その時期から新たにボラサポを知る団体も少なかったと考えられること、継続応募の条件を一部変更したことで、同一活動の継続応募がしやすくなったことなどが原因として考えられます。活動終了後速やかに精算を終了し、次回の応募ができるよう条件を整えるなど、団体側の工夫も多く見受けられました。
- ② 広域避難者支援の活動(保養含む)では、全体の応募の約2割に当たる23件・5,851万円の応募がありました。助成金や企業等の寄付金が減少する中で、特に広域避難者支援の活動に対する助成は少なくなっており、ボラサポの応募条件が法人格を必要としないことも相まって毎回一定数の応募が寄せられていると考えられます。いまだ5万人を超える方が元々住んでいた場所を離れて生活しており、避難者自身が活動するもの、避難者を受け入れる地域の団体が活動するものなどさまざまな応募が寄せられています。

2. 今回、検討を行った助成の考え方について

[第18次の審査について]

第18次では特に大きな論点となる事項はなく、応募要項に基づき、これまでと同じ基準で審査を行いました。

3.ボラサポ終了後の提言について

ボラサポは2011年4月に第1次の応募受付を開始し、2016年1月の第18次助成決定まで4年9カ月にわたって助成を続けてきました。これを受け、助成内容とその成果、ボラサポという助成のしくみそのものの成果と課題、今後起きる災害に向けての提言などを報告書の形でまとめることにしています。その中では、被災者支援においてボラサポ終了後に残される課題とその後必要とされる取り組みについて、本委員会として提言を行う予定です。現在、ボラサポに応募した団体へのアンケート調査なども実施しており、そうした結果を踏まえて第三者の視点も入れた報告書とする予定です。現時点では、「残される課題」として以下のような点が挙げられると考えています。

- ①仮設住宅に取り残される人々とその周辺課題：金銭的な見通しが立たないことで災害公営住宅や民間賃貸住宅などへの引越しができない人、金銭的な見通しも引越しの目途もついていないが、災害公営住宅建設の遅れなど物理的な理由により仮設住宅で「待っている」状態の人、仮設住宅退去後の生活のことを考える余裕がないなど精神的な理由が主で引越しができない人など、「仮設住宅に残っている」ことは同じでも、その状況はさまざまです。それぞれの人に必要な支援は異なり、支援内容は複雑化しています。仮設住宅に残る人数が少なくなる中での「孤立感」も、今後ますます強まると考えられます。一方、支援金の減少による支援団体の撤退などでこれまで以上に「見守り」の目が少なくなること、交流の機会や外出の機会が減少すること、地元の支援者(生活支援相談員等)にかかる負担がますます重くなり、支援者の精神的なケアも必要になることなど、支援の複雑化に反して支援体制は弱くなることの課題が多方面で出ると考えられます。
- ②広域避難者とその周辺課題：2017年3月末までに福島県浜通りの「居住制限区域」および「避難指示解除準備区域」の避難指示を解除するという方針が昨年6月に閣議決定されました。避難指示区域以外からの避難者であるいわゆる「自主避難者」に対する「応急仮設住宅供与期間」が2017年3月に終了することと合わせ、広域避難者をめぐる外部環境は今後一年ほどで大きな変化が予想されます。避難者一人ひとりの状況に目を向けても、子どもの進学に合わせて帰還を考える世帯、避難先での定住を決める世帯、金銭的な問題から希望に反して帰還を選択せざるを得ない世帯、帰還先のコミュニティになじめず孤立を深める世帯など、さまざまな状況があり、支援団体単体では、課題の解決が難しい状況が生まれています。

こうした課題に対して、どんな取り組みが必要とされるのか、現状ある施策等の中で活用可能なものは何かなどをまとめていきたいと考えています。提言などの報告書は、まとまり次第中央共同募金会のホームページで公表いたします。

4. 終わりに

東日本大震災の支援のために使ってほしいとボラサポに託されたお金は44億967万9686円。阪神・淡路大震災は「ボランティア元年」と呼ばれましたが、東日本大震災は「支援金元年」と呼んでもいいほど、多くの支援がボラサポや他の団体に寄せられました。被災者の手元に直接届く「義援金」に対する寄付を選ぶ人がこれまでは大半を占めていましたが、活動を応援する資金である「支援金」という形を選んで寄付する人が増えたことは大きな特徴です。その「支援金」も大きく二つに分かれます。直接活動する団体に寄付する形と、ボラサポのように中間支援組織に寄付をし、その組織が活動する団体を選んで助成するという形です。後者では「活動する団体を応援したいが、どこに寄付したらよいかわからない」という声を多く聞きました。ボラサポは、託された

寄付への思いとその責任を感じながら、これまで18回の審査を行ってきました。4年9月にわたって助成を続けてこられたのは、寄付者のみなさまのおかげです。寄付をくださった日本国内の個人、団体、企業、そして世界中のみなさまに改めて深くお礼を申し上げます。

最終回となる第18次までの助成で、その大半を助成金として団体にお渡しすることができました。残った金額については、「住民支え合い活動助成」として、被災3県の共同募金会が実施する住民同士の支え合い活動をサポートするために活用させていただきます。

審査に当たっては、活動地の行政や社会福祉協議会、関係団体に何度も実態確認の連絡をさせていただきました。震災当初の混乱期でも、多くの組織から丁寧に対応いただきました。一方、審査決定までの時間が短く、審査対象も多かったため、団体を訪問して審査することはほとんどできませんでした。この点について「本当に現場が見えているのか」というご批判をいただいたこともありました。可能な限り活動状況の確認に努めました。こうしたご批判については、報告書の中で課題としてまとめたいと考えています。

ボラサポの実施を通じて、多くの方にご協力をいただきました。さまざまな形でご支援くださったみなさまに感謝申し上げます。

最後となりますが、助成金は活動する団体があってはじめて活かされるものです。一つの災害でこれほど長く、多くの団体が活動を続けたのは東日本大震災が初めてのことでした。44億円ものご寄付を余すことなく活用できたのは、支援団体のみなさまのおかげです。その中には自らも被災しながら活動を続ける多くの団体がありました。心より敬意を表しますとともに、ボラサポを活用くださったことに感謝いたします。今なお課題が多く残る東日本大震災において、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

以上

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」
配分委員会 委員長 山崎美貴子

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
第18回 助成団体一覧【速報】

【短期活動】					
NO	団体名	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
1	震災支援京都ネット	京都府京都市中京区	応急仮設住宅に住む被災者への僧侶らによる慰問Cafe活動と追悼法要	宮城県亶理郡亶理町・仙台市宮城野区・気仙沼市、福島県耶麻郡北塩原村	30
2	ゲットライブリー	東京都日野市	スポーツ交流、昭和歌謡コンサート、女川町熊野神社例大祭を通じた被災者の心の復興のための文化交流活動	福島県いわき市、宮城県女川町	45
3	かながわ「福島応援」プロジェクト	神奈川県相模原市中央区	福島県南相馬市の被災者の家屋内外の片付けや清掃支援活動	福島県南相馬市	28
4	AMDA兵庫	兵庫県明石市	ヨガとお茶っこによる石巻市雄勝町の被災者・高齢者の心身の健康増進事業	宮城県石巻市	16
5	UT-OAK震災救援団	千葉県柏市	南三陸町の仮設団地でくらす子どもたちのための寺子屋活動	宮城県本吉郡南三陸町	45
6	はり灸レンジャー	岐阜県岐阜市	被災障害者や高齢者とその支援者へ交流の場の提供と鍼灸による自己ケアの普及活動	宮城県登米市・本吉郡南三陸町・亶理郡山元町・石巻市、福島県田村市	27
7	川和 TEAM SMILE	神奈川県横浜市都筑区	被災地の子どもたちが元気と笑顔を取り戻すための花火大会を開催する活動	宮城県東松島市・石巻市・亶理町・山元町、福島県南相馬市・いわき市・新地町、神奈川県横浜市	50
8	学生団体ラポール	埼玉県上尾市	震災によって不安を抱えながら生活する福島県いわき市の子どもたちにスポーツやキャンプ体験を通じて笑顔になってもらう活動	福島県いわき市、埼玉県秩父市	42
9	SVB	神奈川県逗子市	石巻市雄勝地域の廃校になった小学校を子どもたちのための複合体験施設として整備・運営し、地域を活性化させる活動	宮城県石巻市	50
10	Home of Wisdom	岩手県気仙郡住田町	仮設住宅での生活が未来の力となるように開催する交流型アートワークショップ事業	岩手県大船渡市・陸前高田市・気仙郡住田町	33
11	東北ボランティア有志の会香川	香川県高松市	東日本大震災で被災された方々の復興を香川から応援する仮設住宅訪問とサロン活動	宮城県気仙沼市・本吉郡南三陸町	50

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
第18回 助成団体一覧【速報】**

【短期活動】					
NO	団体名	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
12	上野原・ハート	山梨県上野原市	女川町の仮設住宅のコミュニティ活動を被災した人々が主体的に参加・取り組めるように支援する交流サロン活動	宮城県女川町	39
13	NPO法人樹木いきいきプロジェクト	静岡県富士市	津波で浸水した学校や公園のシンボルトリーを塩害から守る活動	宮城県石巻市・東松島市	30
14	福島復興【FUKU-O】プロジェクトをつなごう岡山実行委員会	岡山県岡山市中区	岡山と福島の学生が中心となって福島の復興、未来の可能性をさぐる「福島×岡山 復興【FUKU-O】春フェス開催事業	岡山県岡山市	48
15	ReVA～復興ボランティアチーム・上尾	埼玉県上尾市	陸前高田の被災者のコミュニティづくりの支援や、仮設住宅の住環境の整備や生活支援を通じた高齢者の見守り事業	岩手県陸前高田市、福島県南相馬市	50
16	NPO法人まつもと子ども留学基金	長野県松本市	福島の子もたちが信州の自然の中で地元の子もたちと交流しながら心身のリフレッシュを図る活動	長野県松本市中心に長野県北地域、福島県全域	22
17	四日市東日本大震災支援の会	三重県四日市市	三重県の高校生・大学生が、東松島市と葛尾村で交流イベントを開催し復興に寄り添う活動	宮城県東松島市、福島県双葉郡葛尾村	50
18	NPO法人祈りの芸術 TAICHI-KIKAKU	東京都中野区	演劇上演とワークショップにより福島の被災者の心のケアと新しい共同体での地域活性化に寄与する事業	福島県南相馬市・本宮市・福島市、東京都中野区	36
19	NPO法人青森じゃわめぎ隊	青森県青森市	青森のねぶたを宮城県東松島市で運行する活動を通し、集団移転先の住民との交流と絆を深める活動	宮城県東松島市	50
20	NPO法人岡山市子どもセンター	岡山県岡山市北区	広域避難親子のための外遊び&舞台芸術鑑賞を通じた地域子育て支援事業	岡山県岡山市	29
21	被災地の子どもを応援する会ほんわか	北海道亀田郡七飯町	福島の子もたちを北海道に招き地域の子もたちと交流しながら農業・食育体験をするホームステイ事業	北海道七飯町・森町・函館市	40
22	学校法人藤女子大学人間生活学部 船木研究室	北海道石狩市	北海道の女子大生が被災地域の市民と連携して行う継続的な訪問と文通による支援活動	宮城県岩沼市・名取市・亘理町・山元町	29
23	LAMP	岩手県陸前高田市	三陸沿岸住民による参加型音楽交流事業および地域コミュニティ再生事業	岩手県陸前高田市・住田町・一関市	43

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
第18回 助成団体一覧【速報】**

【中長期・重点活動】					
NO	団体名	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
1	NPO法人会津地域連携センター	福島県会津若松市	会津地域に暮らす避難者の為の生活応援、交流、コミュニティ再生を図る活動	福島県会津若松市・会津美里町	267
2	南蒲生復興部	宮城県仙台市宮城野区	仙台市宮城野区南蒲生地区の、産業・交流づくりのためのアーカイブ事業	宮城県仙台市宮城野区	100
3	藤岡災害ボランティアサークル	群馬県藤岡市	日帰りバスツアーによる被災した海岸や公共地の清掃、個人宅の片付け、壊れた構造物解体等の直接支援活動	福島県南相馬市、宮城県気仙沼市	168
4	NPO法人はちみつ	茨城県高萩市	被災された方々への心のケアと絆で結ばれる人間関係構築のための音楽療法事業	福島県いわき市、茨城県北茨城市・高萩市	287
5	NPO法人イコールネット仙台	宮城県仙台市青葉区	被災地で、災害に強い地域づくりに取り組む女性たちのエンパワメントを図る事業	宮城県仙台市内各地域 利府町・岩沼市・石巻市・塩竈市 等	73
6	一般社団法人change	東京都府中市	宮城県の被災地の子どもたちの運動不足の解消と心のケアを行う活動	宮城県南三陸町・気仙沼市・仙台市	281
7	NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ	宮城県石巻市	復興道路建設に伴い失われる施設を住民により継続・発展させる為の調整活動	宮城県石巻市・東松島市・女川町	198
8	ゆくゆく輪編集部	宮城県石巻市	宮城県石巻市釜・大街道地区に特化した地域情報紙による情報提供事業	宮城県石巻市	224
9	フクシマ環境未来基地	福島県いわき市	福島県内森林ボランティア団体との連携による、森林から進める復興プロジェクト	福島県いわき市・白河市・西郷村・会津若松市	137
10	MANA'S 石巻ママサポート	宮城県石巻市	小さい子どもを持つ母親の心のケアとコミュニティ作りのためのサロン活動	宮城県石巻市	182
11	NPO法人ハーティ	大阪府吹田市	石巻市におけるコミュニティ再生および孤独化防止のための活動団体への支援および地域支援力向上のための事業	宮城県石巻市	270
12	NPO法人亘理いちごっこ	宮城県亘理郡亘理町	被災地における子どもおよび被災住民のための居場所づくり事業	宮城県亘理町・山元町	268

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
第18回 助成団体一覧【速報】**

【中長期・重点活動】					
NO	団体名	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
13	NPO法人埼玉カウンセリングセンター	埼玉県さいたま市大宮区	仮設住宅住民と支援者のためのカウンセリングと娯楽によるこころのケア活動	宮城県石巻市	231
14	一般社団法人関西浜通り交流会	京都府京都市中京区	福島県富岡町から関西・北陸周辺に避難している方々への個別訪問事業と交流の場をつくる活動	京都府京都市、石川県金沢市、大阪府大阪市	131
15	認定NPO法人ハンズオン埼玉	埼玉県さいたま市浦和区	埼玉県内の避難者のための情報誌発行および埼玉県内避難当事者のネットワーク推進支援事業	埼玉県県内全域	213
16	一般社団法人aichikara	愛知県名古屋市中区	岐阜での自然体験、職業体験、地域交流を通して、福島県や周辺の被災地の子どものつながりやリーダーシップを育てるリフレッシュキャンプ事業	福島県福島市・伊達市・郡山市、岐阜県中津川市	252
17	NPO法人鍼灸地域支援ネット	滋賀県甲賀市	広域避難者を含む被災者、支援者に対する鍼灸・マッサージと傾聴によるストレスケア活動	岩手県大槌町、宮城県石巻市・気仙沼市、京都府京都市下京区・伏見区・山科区	239
18	NPO法人にじいろクレヨン	宮城県石巻市	石巻市の仮設住宅における子どもを軸とした地域住民のための居場所作り活動	宮城県石巻市	224
19	大阪府下避難者支援団体等連絡協議会	大阪府大阪市浪速区	大阪府内の被災者・避難者のための地域生活支援および支援ネットワーク構築のための協働促進事業	大阪府全域、宮城県東日本大震災の被災地の一部(宮城県内)	211
20	ともだちin神戸	兵庫県神戸市西区	仮設住宅入居者等の健康維持増進のための健康体操教室活動および毎月の孤立防止のための文通活動	宮城県名取市	82
21	NPO法人コドモ・ワカモノまちing	東京都千代田区	子どもの遊び場づくりを中心としたコミュニティ支援および地元支援団体の基盤づくり、人材育成事業	宮城県石巻市、東京都各所	261
22	山形つながるプロジェクト	山形県山形市	東日本大震災による山形県内避難者のための生活支援および、被災者のための保養支援	山形県山形市・西置賜郡小国町・天童市・寒河江市・米沢市	290
23	ACTION ~student's project for 3.11~	宮城県気仙沼市	気仙沼大島の子どもたちが、体験型ワークショップやかわらばんの作成を通じて地域を学ぶ活動	宮城県気仙沼市	117

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
第18回 助成団体一覧【速報】**

【中長期・重点活動】					
NO	団体名	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
24	絆プロジェクトおおむた KPTO	福岡県大牟田市	広域避難者の繋がり場の場づくり活動および被災者と支援者を繋ぐ活動	福岡県大牟田市、福島県郡山市・二本松市、宮城県南三陸町・雄勝町	171
25	mia forza	宮城県仙台市宮城野区	被災地に暮らす多重トラウマを抱える女性のトラウマケアおよび支援者養成プログラム	宮城県仙台市・石巻市	102
26	チームOK	北海道札幌市厚別区	避難当事者団体が青年層と作る「伝える、整える、つながる、成長する」事業	北海道札幌市・江別市	300
27	気仙沼みらい計画大沢チーム	神奈川県横浜市金沢区	気仙沼市大沢地区の住民の主体的なコミュニティ維持・再生活動を継続・開発していくためのワークショップ活動	宮城県気仙沼市	51
28	ふくしまの笑顔をつなぐボランティアグループ“ひらそる”	福島県二本松市	福島の子どものための野外活動支援のためのプレ冒険広場整備と学生ボランティア育成事業	福島県二本松市・大玉村・猪苗代町	63
29	一般社団法人復興みなさん会	宮城県本吉郡南三陸町	入居前から始める南三陸町復興公営住宅入居者のつながりづくりを支援する事業	宮城県本吉郡南三陸町	186
30	子どものための石巻市民会議	宮城県石巻市	住民主体でつくるプレーパーク活動と子どもが企画運営するお仕事体験イベント「子どものまち・いしのまき」を通して、石巻の子ども支援団体のつながりを継続的なものにする活動	宮城県石巻市	240
31	一般社団法人プレーワーカーズ	宮城県名取市	被災地の住民が主体となった、子どもの居場所・遊び場を通じたコミュニティづくりの活動	宮城県気仙沼市	245
32	東京青年司法書士協議会	東京都中央区	司法書士による宮城県女川町などの被災者のための法律・生活支援等の相談活動	宮城県女川町、東京都	133
33	NPO法人福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト	香川県高松市	福島の子どもたちの保養および福島と香川をつなぎ被災地支援の輪を広げる活動	香川県高松市・さぬき市・坂出市など	155
34	一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN	東京都千代田区	被災地仮設住宅と避難先の人と人の心をつなぎ、復興に向けての情報を伝えるコミュニティ新聞「わわ新聞」の発行活動	東京都全域の仮設住宅およびコミュニティスペース および県外避難先	210

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
第18回 助成団体一覧【速報】**

【中長期・重点活動】					
NO	団体名	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
35	NPO法人フォトサルベージの輪	千葉県市川市	被災した写真を修復・デジタル化し、写真返却が可能な体制を整える活動	千葉県柏市、福島県南相馬市、宮城県仙台市	190
36	NPO法人おおさき地域創造研究会	宮城県大崎市	災害公営住宅やみなし仮設住宅の入居者が孤立しないためのコミュニティ形成支援活動	宮城県大崎市	227
37	NPO法人KIプロジェクト	岐阜県下呂市	ボラバス運行による宮城県の仮設住宅での食事づくりやイベントを通じた心の交流や生き甲斐を創造する活動	宮城県石巻市・気仙沼市・名取市	298
38	南相馬支援グループ	東京都小金井市	南相馬で被災地のニーズに寄り添い、農作業と手仕事を通じて世代間交流の環境の充実を促進する活動	福島県南相馬市	184
39	思い出サルベージ	宮城県亶理郡山元町	被災写真を洗浄・デジタル化し、情報技術を駆使して元の持ち主にお返しするための活動	宮城県亶理郡山元町	180
40	一般社団法人BIG UP石巻	宮城県石巻市	在宅被災者の新しいまちづくりの為にコミュニティスペース運営事業	宮城県石巻市	299
41	石巻圏内子育て応援サークルマン・フルーリ	宮城県牡鹿郡女川町	石巻圏内の母親達の学びと交流のためのイベント開催およびサロン活動	宮城県石巻市・牡鹿郡女川町	157
42	NPO法人TEDIC	宮城県石巻市	石巻市の不登校・引きこもりおよび困窮世帯の子どもたちのための「心」の居場所づくり事業	宮城県石巻市・東松島市・女川町	246
43	一般社団法人日本カーシェアリング協会	宮城県石巻市	生活再建・仮設からの引っ越しや復興住宅コミュニティ形成のためのカーシェアリング事業	宮城県石巻市	298
44	女川っ子アクティブクラブ	宮城県仙台市泉区	宮城県牡鹿郡女川町の子どもの運動量確保のための支援活動	宮城県牡鹿郡女川町	97
45	NPO法人輝きの和	岩手県宮古市	裂き織り工芸技術育成支援により被災者の生きがいと生活の安定を生む事業	岩手県宮古市	58
46	NPO法人HERO	宮城県仙台市泉区	子どもたちに愛と勇気と希望と笑顔を届けるオリジナルヒーローショー開催事業	宮城県全域、岩手県全域、福島県全域	205

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
第18回 助成団体一覧【速報】

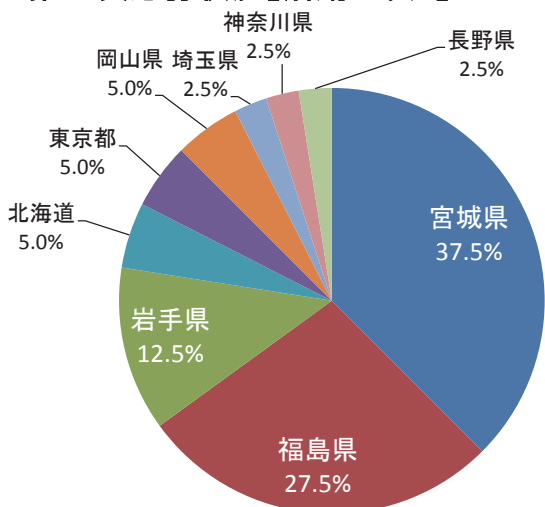
【中長期・重点活動】					
NO	団体名	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
47	NPO法人復興応援かけこみキャラバン	東京都小平市	被災者の心の癒しと、発表・交流の場を創出するための秋祭り・音楽祭等の開催	岩手県釜石市、東京都国立市・三多摩地域	47
48	NPO法人蜘蛛の糸	秋田県秋田市	秋田県・岩手県での被災者・避難者への相談活動やシンポジウムを通じた心の支援、および生活支援活動	岩手県釜石市・陸前高田市・大槌町、秋田県秋田市	138
49	未来会議事務局	福島県いわき市	地域の課題を被災者自らが解決して行く学びの場、繋がり場の提供する活動	福島県いわき市・双葉郡	218
50	ひとりじゃないよプロジェクト・福井	福井県福井市	福井県における広域避難者の自立支援事業	福井県福井県一円、福島県双葉郡一円	90
51	NPO法人田の浦ファンクラブ	宮城県南三陸町	田ノ浦地区の住民の地域内外の交流を促進するための拠点整備事業	宮城県南三陸町	282
52	小国からの笑顔	福島県伊達市	福島の親子が笑顔で前向きに過ごすためのサロン活動	福島県伊達市・福島市	205
53	茨城県内への避難者・支援者ネットワーク ふうあいねっと	茨城県水戸市	茨城県内広域避難者の「つなぎ・伝え続ける」ための情報誌・記録集発行事業	茨城県全域	289
54	NPO法人とみおか子ども未来ネットワーク	東京都千代田区	原発避難者の避難元と避難先の新たなコミュニティ支援と次世代継承事業	福島県郡山市・いわき市・福島市など、東京都全域、大阪府全域	269
55	一般社団法人まなびの森	宮城県角田市	宮城県南部の子どもたちを対象とした学習支援活動および子どもたちの健全な成長に寄り添い見守るための拠点づくり事業	宮城県山元町・角田市・大河原町	276
56	公益社団法人みらいサポート石巻	宮城県石巻市	石巻市南浜地区の離散したコミュニティ回復のための追悼・伝承スペースの整備・運営、および情報発信等の活動	宮城県石巻市	194
57	ふるさと豊間復興協議会	福島県いわき市	豊間地区のコミュニティと産業の再生のための住宅再建および拠点整備支援活動	福島県いわき市	949
58	NPO法人びば！！南三陸	宮城県本吉郡南三陸町	南三陸町の被災した高齢者のための生きがいサポート事業	宮城県本吉郡南三陸町・登米市	683

災害ボランティア・NPO活動サポート募金 短期活動助成金 第18次応募状況

今回の応募全件における活動内容(複数回答)について、グラフにまとめました。

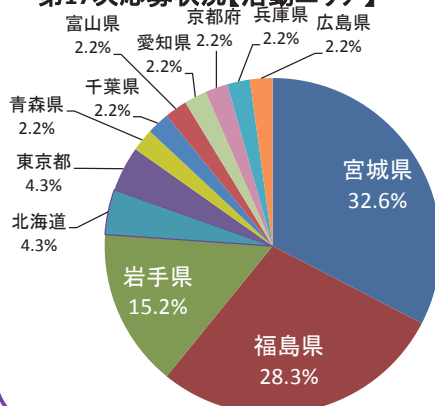


第18次応募状況【活動エリア】



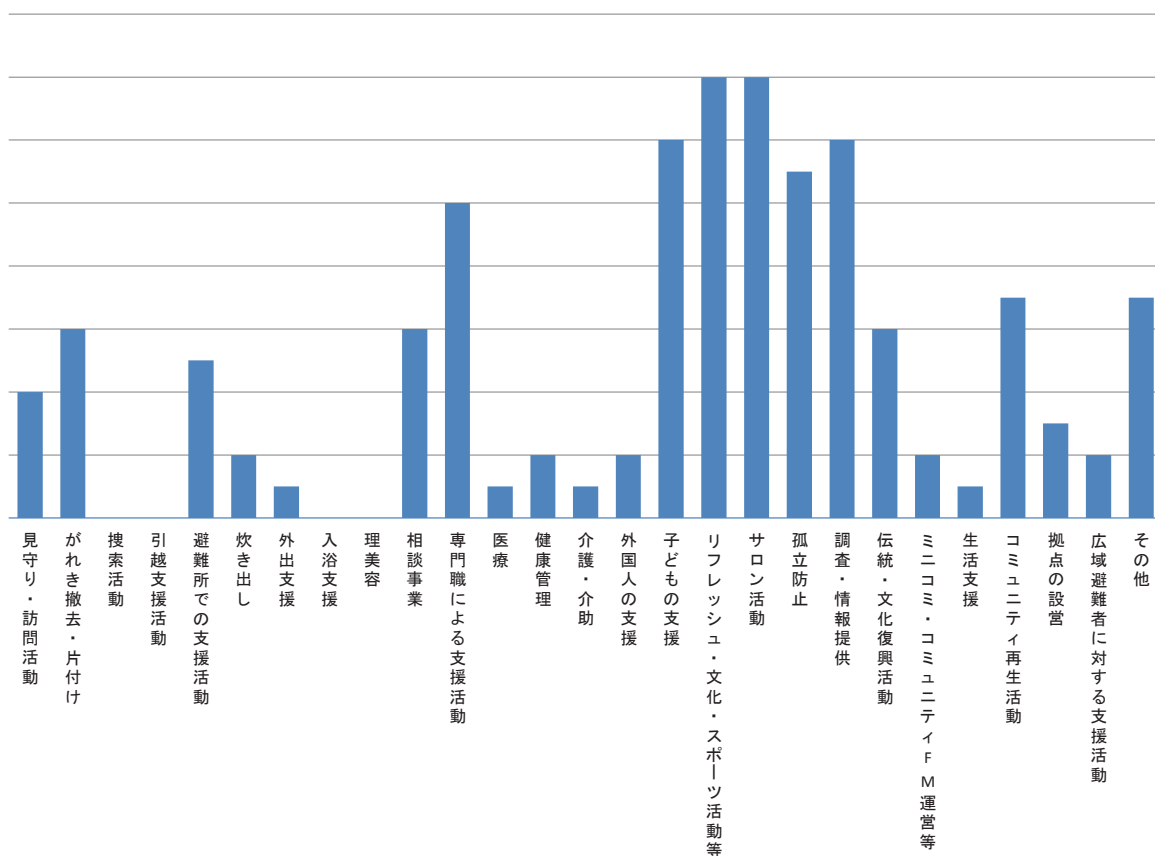
短期

第17次応募状況【活動エリア】



(応募書アンケートより作成)

活動内容分類



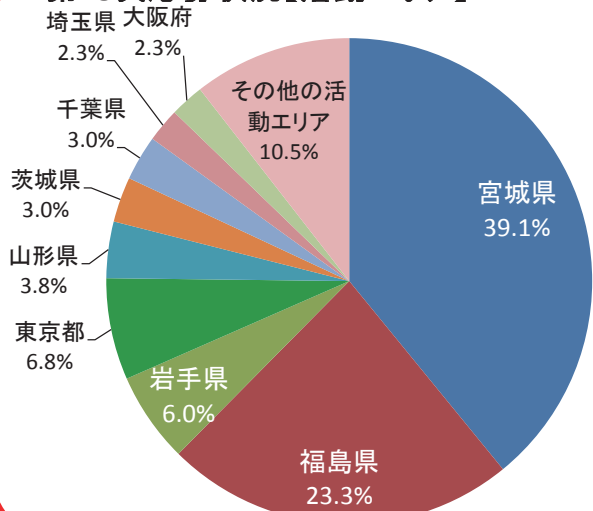
災害ボランティア・NPO活動サポート募金 中長期活動助成金 第18次応募状況

今回の応募全件における活動内容(複数回答)について、グラフにまとめました。

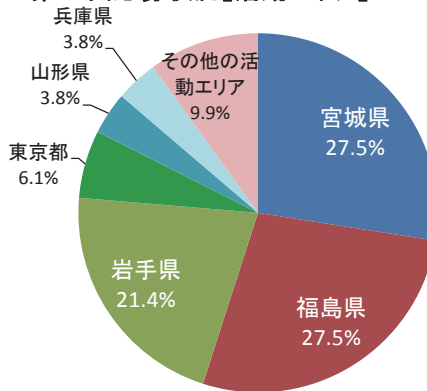


中長期

第18次応募状況【活動エリア】

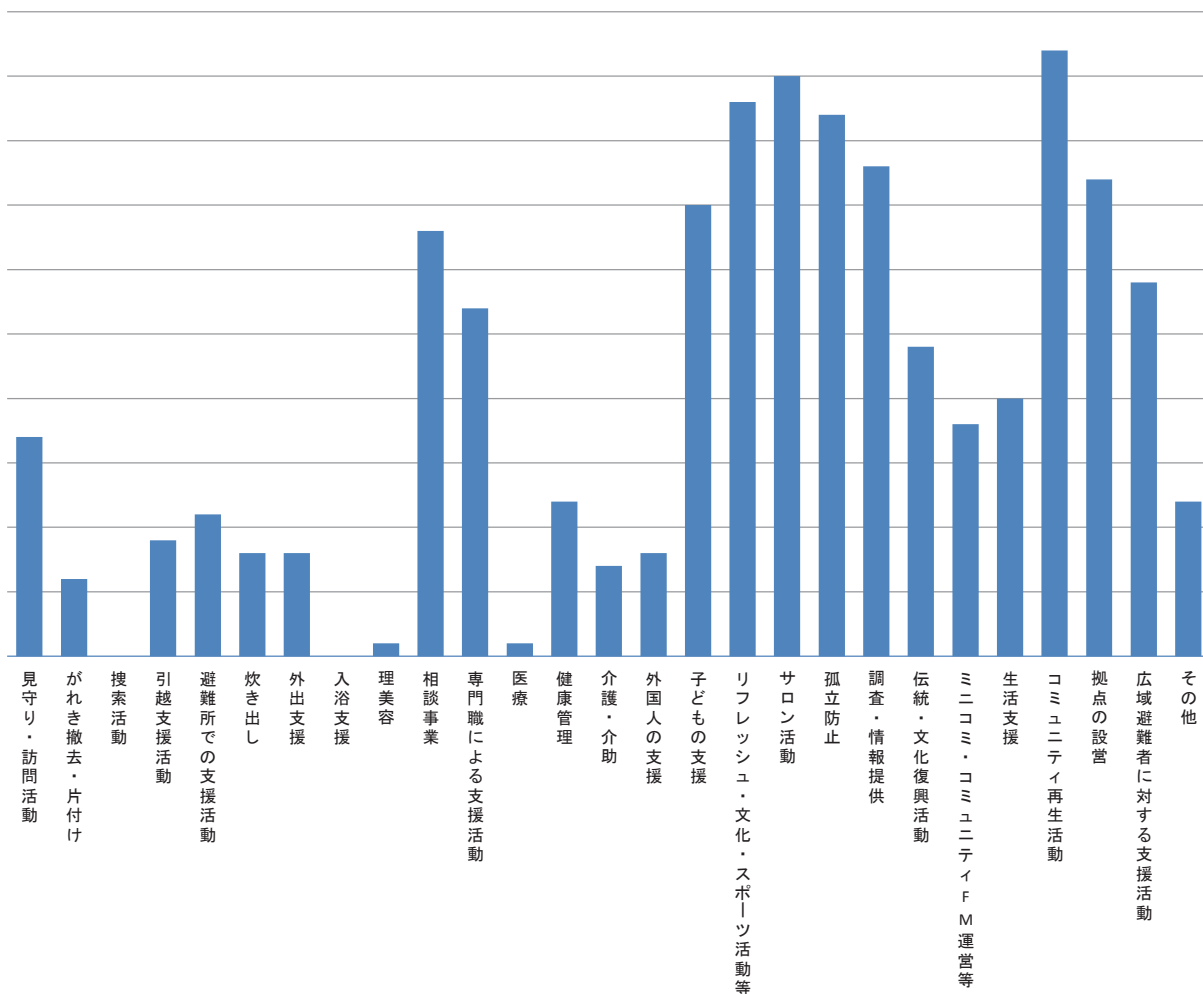


第17次応募状況【活動エリア】



(応募書アンケートより作成)

活動内容分類





災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

<配分委員会名簿>

(五十音順・敬称略)

【委員長】

- 山 崎 美 貴 子 (「広がれボランティアの輪」連絡会議 代表/
東京ボランティア・市民活動センター 所長)
- 伊 藤 道 雄 (特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター 顧問)
- 山 田 秀 昭 (社会福祉法人 全国社会福祉協議会 常務理事)
- 佐 藤 正 敏 (1% (ワンパーセント) クラブ 会長、
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 相談役)
- 堀 田 力 (公益財団法人さわやか福祉財団 会長)
- 山 内 明 子 (生活協同組合連合会コープネット事業連合 執行役員)



災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

<運営委員会委員名簿>

(五十音順・敬称略・2015年4月現在)

阿南健太郎 (一般財団法人 児童健全育成推進財団業務部課長)

安藤雄太 (東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー)

鹿住貴之 (認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK
理事・事務局長)

古賀桃子 (特定非営利活動法人ふくおか NPO センター 代表)

斎藤仁 (一般社団法人日本経済団体連合会 政治・社会本部長)

佐甲学 (社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長/
全国ボランティア・市民活動振興センター所長)

諏訪徹 (日本大学文理学部社会福祉学科 教授)

早瀬 昇 （認定特定非営利活動法人日本 NPO センター 代表理事/
社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事）

星野 智子（一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事）

森本 勝也（公益社団法人日本青年会議所 副会頭）

山口 誠史（特定非営利活動法人 100 万人のふるさと回帰・循環運動
推進・支援センター 総務部長）

山ノ川 実夏（MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス
（株）人事・総務部 部長）

中島 謙次（社会福祉法人中央共同募金会 常務理事）